

## 連結自己資本比率

(単位：百万円)

項 目		平成18年3月期	平成19年3月期
( 自 己 資 本 )			
出資金		202	209
利益剰余金		5,860	5,920
その他有価証券の評価差損 (△)		88	115
連結子法人等の少数株主持分		—	—
[基本的項目] 計	( A )	5,974	6,014
土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額		—	—
一般貸倒引当金		207	45
負債性資本調達手段等		—	—
補完的項目不算入額 (△)		—	—
[補完的項目] 計	( B )	207	45
自己資本総額 [ ( A ) + ( B ) ]	( C )	6,181	6,059
他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額		632	632
控除項目不算入額 (△)		632	632
[控除項目] 計	( D )	—	—
自己資本額 [ ( C ) - ( D ) ]	( E )	6,181	6,059
( リスク・アセット等 )			
資産 (オン・バランス項目)		34,003	29,008
オフ・バランス取引項目		339	566
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額		—	2,728
リスク・アセット等計	( F )	34,343	32,303
連結Tier1比率 (A/F)		17.39 %	18.61 %
連結自己資本比率 (E/F)		17.99 %	18.75 %

(注) 自己資本比率は、平成19年3月期は「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するための基準」(平成18年金融庁告示第21号)に定められた算式に基づき算出しております。また、平成18年3月期は「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき自己資本比率の基準を定める件」(平成5年大蔵省告示第62号)に定められた算式に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

### 連結の自己資本について

1. 定性的な開示事項は、単体自己資本比率に関する定性項目 (27~35 頁) をご参照願います。
2. 定量的な開示事項は、以下の項目以外は単体自己資本比率に関する定量項目 (27~35 頁) をご参照願います。

(単位：百万円)

自己資本の充実度に関する事項 (リスクアセットの額)	平成19年3月期	
	連結	単体
イ. 信用リスクアセット額合計	29,575	29,585
① 標準的手法が適用されるポートフォリオごとの エクスポージャー	29,425	29,435
② 証券化エクスポージャー	150	150
ロ. オペレーショナル・リスク	2,728	2,728
ハ. リスクアセット等合計 (イ+ロ)	32,303	32,313

(単位：百万円)

信用リスクに関する事項	平成19年3月期	
	連結	単体
信用リスクに関するエクスポージャー及び主な種類別の期末残高		
国内	68,895	68,905
地域別合計	72,547	72,557
各種サービス	6,882	6,892
業種別合計	72,547	72,557
期間の定めのないもの	25,983	25,993
残存期間別合計	72,547	72,557
リスク・ウェイトの区分ごとのエクスポージャーの額等		
100% (格付適用なし)	21,394	21,404
合 計	72,547	72,557
(格付適用なし)	44,328	44,338

### 事業の種類別セグメント情報

連結会社は、当金庫の事務処理の受託等の事業を営んでおりますが、それらの事業の全セグメントに占める割合が僅少のため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。